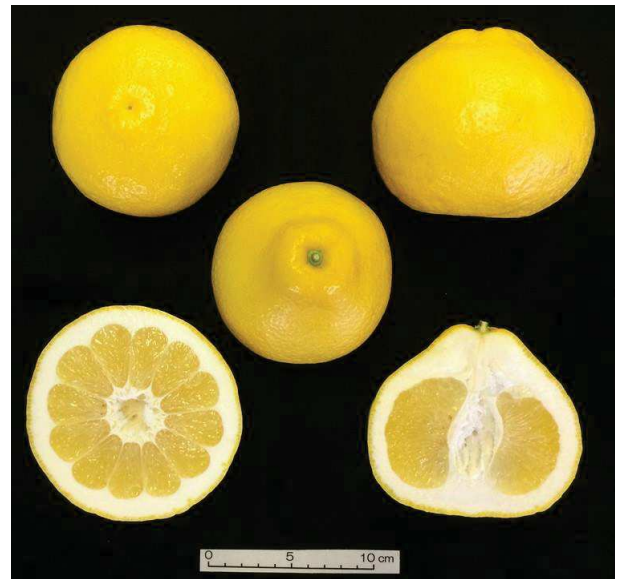


種子が少なくカットフルーツに向くカンキツ新品種「瑞季」

カンキツが品薄となる4月中旬以降が食べ頃で、
爽やかなブンタンの風味を有し、簡易に食べられます



由来

- 「瑞季」は、種子親を「水晶文旦」とし、花粉親を「サザンイエロー」（「谷川文旦」×「無核紀州」）として育成した交雑品種です。
- 広島県と京都大学が共同で育成し、2018年3月7日に品種登録出願を行い、2019年11月20日に品種登録（第27604号）となりました。
- 品種名は、果汁が多く、瑞々しい新緑の季節が成熟期であることに由来します。

特性

- 爽やかなブンタンの風味を有し、甘い芳香があります。
- 果実は洋梨形～短卵形で、果皮は鮮やかな黄色です。
- 果実重は「河内晩柑」より大きく、果肉歩合は同程度です。
- 糖度は高く食味は良好です。種子が極めて少なく、果肉が柔らかくて果汁が多いので、スマイルカットあるいは赤道部でカットして、スプーンですくって食べるのに適しています。
- カンキツかいよう病の発生は少なく、隔年結果性は弱いです。



栽培上の留意点

- 樹上越冬栽培で食味が向上するので、越冬可能な温暖な地域での栽培が適しています。
- 幼木や夏秋梢ではとげが発生しますが、結実後年数を経過すると徐々に減少します。
- 夏期に果実に黄斑が発生しますが、軽度の果実では着色に伴い目立たなくなります。
- 苗木の販売は2020年度から開始されており、普及地域の制限はありません。

「瑞季」の果実特性

品種	果形指数 ^z	果実重 (g)	果皮の厚さ(mm)	果皮歩合 (%)	剥皮の難易	果心の充実度	Brix値 (° Brix)	クエン酸含有量 (%)	種子数 (個/果)
瑞季	100	504	10.3	44.5	中	粗	11.7	1.04	2.4
河内晩柑	102	441	10.6	45.6	やや難	中	9.0	1.11	31.2

特性値は種苗特性分類調査報告書（1994）による
果実は2017年4月19日に収穫して2017年4月21日に調査 ^z(横径/縦径)*100

*本研究の一部は、農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業にて実施しました。